

世界で学ぶ。
未来につながる。

TEKYO
University
of Science

TEKYO
University
of Science

国際交流
ガイドブック

International Programs Guide

2026～2027年度版

帝京科学大学

お問い合わせは
国際交流センターへ



海外研修の情報は
「国際交流ブログ」へ



TEL : 03-6910-3729 メール : cie@ntu.ac.jp

「いのち」の学び舎を、世界へ広げる。

冲永 莊八 理事長／学長



本学は「いのちを学ぶキャンパス」をキーワードに、将来さまざまな領域で活躍しようとする学生が集い、学んでいます。学内では、多様な分野の仲間と出会い、横のつながりを育むことができます。

一方で、それぞれが自らの専門領域を深め、将来の職業人として、自分の分野に特化した考え方や方法を身につけていかなければなりません。これは専門性を高めるという重要な営みであると同時に、他分野や異なる価値観に触れる機会が少なくなるという側面も併せ持っています。

私が皆さんに海外研修を勧めたい理由は、同じ専門分野であっても、日本と海外とは考え方や方法が大きく異なり、驚かされることが少なくないからです。そうした違いを知ることが、自分の専門領域をあらためて見つめ直し、新たな発見へとつながる場合があります。他を知らずして、己を知ることはできません。

将来の職業や自分自身を見つめ直すためにも、ぜひ海外研修の機会を積極的に活用し、海外での「いのちの学び」を直接体験してください。その経験が、皆さんの学生生活をより豊かで実りあるものにしてくれることを願っています。

世界と出会い、自分と出会う学び

冲永 隆子 代表業務執行理事／副学長



大学での学びは、知識を身につけることだけではありません。「学校で学んだことをすべて忘れた後に残るものが教養である」—— 人生の土台となるのは、心に深く刻まれた体験です。

このように、アルベルト・アインシュタインは、「自分の目で見て、自分自身の心で感じる人はとても少ない」と語りました。だからこそ海外研修は、教室を飛び出し、自らの五感で世界に触れ、価値観を揺さぶられる貴重な学びの機会です。異なる文化や考え方に会うことで、視野が広がり、自分らしい生き方や将来を主体的に考える力が育まれます。

私自身、学部時代のフランス留学は、今も人生の原点となるかけがえのない経験です。また大学院時代に参加した海外の国際学会で出会った研究者との交流は、現在も続いています。

大学の使命とは、知識を教えることにとどまらず、人生を変える人や世界との出会いの機会を学生に届けること。

本学では、学生一人ひとりの成長と安全に十分配慮しながら、海外研修を通じて世界へ踏み出す確かな一歩を、大学全体で支えてまいります。

Take Flight into the World!

清水 大助 国際交流センター長



本学では、海外での学びを「特別な人だけの経験」ではなく、「誰でも挑戦できる学びの選択肢」として大切にしています。

本学の海外研修は、単なる語学学習にとどまらず、それぞれの専門分野を海外の大学や施設で学び、実際の現場に触れることができる実践的なプログラムです。

学生時代だからこそ、まとまった時間を活かして、観光旅行ではなかなか訪れることのできない様々な施設を見学し、現地の文化や価値観にじっくり触れる経験ができます。

参加する学生の多くは、最初から海外や英語に自信があるわけではありません。不安を抱えながらも一歩踏み出した学生ほど、多くの発見や刺激を得て、視野や考え方を大きく広げて帰ってきます。

国際交流センターでは、出発前の準備から現地での生活まで、教職員がしっかりとサポートしています。

大学生活の中で、ぜひ世界とつながる体験をしてみませんか？

皆さんの「やってみたい」という気持ちを、私たちは全力で応援します。

大学
主催



シンガポール

9月上旬(9日間)



ナンヤン理工学院

看護学科2・3年生

医療福祉学科2年生

こども学科／幼児保育学科／
学校教育学科

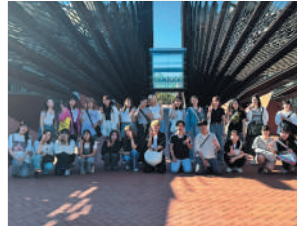
1～3年生

大学
主催



オーストラリア

3月中旬(11日間)



イーディス・コーワン大学

理学療法学科／作業療法学科
／柔道整復学科／東京理学療
法学科／東京柔道整復学科／
看護学科／医療福祉学科／
こども学科／幼児保育学科／
学校教育学科

1～3年生

大学
主催



シンガポールリハビリテーション

9月中旬(9日間)



シンガポール工科大学

理学療法学科／作業療法学科
／柔道整復学科／東京理学療
法学科／東京柔道整復学科

1～3年生

大学
主催



韓国

9月中旬(6日間)



ソウル大学附属病院

理学療法学科／作業療法学科
／柔道整復学科／東京理学療
法学科／東京柔道整復学科／
看護学科／医療福祉学科

1～3年生

大学
主催



台湾

2週間(8月初旬)



弘光科技大学

全学部・全学科 4年生

学科
主催



カナダ

2月または3月(15日間)予定



LCI語学学校
バンクーバー校

こども学科／幼児保育学科／
学校教育学科

1～3年生

学科
主催



ハワイ

2月または3月(7日間)



ハワイ・パシフィック大学

医療福祉学科

2～4年生

学科
主催



タイ

9月(8日間)



カセサート大学

アニマルサイエンス学科

3年生



ナンヤン理工学院（NYP）

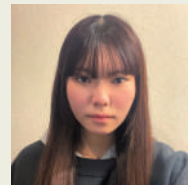
9日間(9月上旬)約22万円

看護学科2・3年生 / 医療福祉学科2年生 / ことども学科・幼児保育学科・学校教育学科 1～3年生



挑戦の先に見えた世界

医療福祉学科2年 先田 有沙

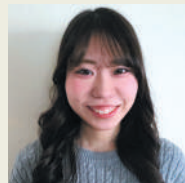


シンガポール研修では、日本との医療制度や文化の違いを感じました。国が強い権限を持ち、駅近に大規模施設を建設できる仕組みを知りました。実際に見学した高齢者向け複合施設には、病院や飲食店、屋上の散歩スペース、音楽を楽しむ場、ジム、託児所など、生活に必要な機能がすべて整っており非常に印象に残りました。NYPの学生とは、言語の壁があっても伝えようと行動し、交流を重ねる中で仲良くなることができました。現地の文化や食べ物を実際に体験できたことも良い経験となり、不安があることにも一歩踏み出して挑戦する大切さを学びました。



海外の医療に興味のある方はぜひ！

看護学科2年 瀧川 夢菜



NYPでは学校内の施設を見学し、教育方針の説明を受けたり、学生が開発した製品に触れたりしました。また、実際の医療現場を再現した看護シミュレーションを体験し、大学とは異なる緊張感を味わいました。他大学の学生と協力して取り組み、意見を聞くことができたのは貴重な経験でした。

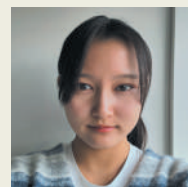
障がいのある方の生活を支える製品を開発する施設や、生活困難者を支援する施設なども見学し、シンガポールの多角的な支援の仕組みについて学びました。

初めは言語の壁に落ち込むこともありましたが、NYPの学生がジェスチャーや翻訳機を使って関わってくれ、お揃いのブレスレットを身につけるなど交流を重ねるうちに仲良くなれて嬉しかったです。



新しい学び方との出会い

看護学科2年 丸野 莉子



NYPでは広大なキャンパスを巡り、学生の学びを支える充実した環境を見学しました。施設見学では、高齢者や子ども、障がいのある方など、誰もが生活しやすいよう工夫された製品や空間設計を知り、街全体の緑の多さと清潔感も印象に残りました。講義では、シンガポールの歴史や政策、高齢化や多文化共生への対策について学びました。NYPの先生や学生との交流、そして「デザイン思考」の授業を通して体験したのは「考えること」を重視した学びです。先生は一方的に教えるのではなく、学生が自分で考え、得意分野を伸ばせるよう寄り添いながら支援しており、学ぶ楽しさを実感しました。

ナンヤン理工学院(Nanyang Polytechnic:NYP)は、1992年に設立されたシンガポールの職業実践型高等教育機関です。医療、理工、ビジネスなど幅広い分野で実践的教育を提供し、特にヘルスケア分野の専門職育成に力を入れています。約15,000人の学生が学ぶ大規模なキャンパスを有し、産業界と連携した実習・研修機会が充実しています。



不安だったけど最高の思い出に

医療福祉学科2年 長堀 明花

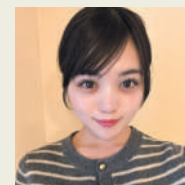


私は海外に行ってみたい気持ちと、シンガポールの福祉制度を学びたい思いから研修に参加しました。英語が苦手不安もありましたが、事前研修で覚えたフレーズや翻訳アプリを使ってバディーと交流し、数日で耳も慣れて会話が楽しくなりました。授業後にはマライオンやユニバーサル・スタジオ・シンガポール(USS)、屋台での食事やショッピングに連れていってもらい、現地の文化に直接触れました。自由時間も、講義では得られない貴重な学びを体験できたと感じています。初めての海外で不安もありましたが、先生や友人、バディーの支えのおかげで、かけがえのない経験になりました。研修への参加を迷っている人も、ぜひ一歩踏み出してみてください。そこには多くの学びがあり、最高の思い出が待っています。



学びも生活も充実

看護学科2年 西倉 花南



NYPで校内や実習施設を見学し、最新設備や臨床現場を再現した環境に驚きました。講義ではシンガポールの医療制度を学び、日本との違いを知ることができました。NYPの食堂では、中華、マレー、インド、韓国料理など多国籍なメニューを楽しみ、文化による味付けの違いを実感しました。夜はアパートのリビングに集まり、一日を振り返りながら食事をしたり、バディーとゲームやダンスをしたりして、アパートでの生活を満喫しました。休日にはマライオン公園や、自然と近代技術が融合したガーデンズ・バイ・ザ・ベイ、シンガポール料理を味わえるホーカーセンター、USSなどを巡り、仲間と有意義に過ごしました。



Program スケジュール(例)

インクルーシブ教育施設および福祉施設の見学、シンガポールの医療保健制度・障がい児支援に関する講義、演習、学生交流を通して、医療・福祉・教育を横断的に学ぶプログラムです。

DAY1 東京→シンガポール

DAY2 NYP学生とのバディ観光交流

DAY3 オリエンテーション／NYP紹介／キャンパスツアー

DAY4 医療・福祉・教育施設の見学①

DAY5 医療・福祉・教育施設の見学②



DAY6 講義（SGの医療制度）／演習（看護シミュレーション）

DAY7 修了証授与／お別れ会・文化交流

DAY8 国立博物館見学／NYP学生とのバディ観光交流

DAY9 シンガポール→東京





人生の かけがえの ない財産に



作業療法学科2年 島影 七海

SITでは、日本とは異なる参加型授業を体験しました。まず自らテストに取り組み、その後グループで議論し、最後に教員の解説を受ける主体的な学びが印象的でした。

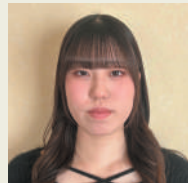
障がい者支援施設では自立を促す支援や地域連携を学び、病院では植物を育てて病室に持ち帰る取り組みなどが特に心に残りました。

また、多民族ならではの食文化や交通の違いも体感し、マリーナベイ・サンズの展望台からの夜景に感動し、国立博物館の映像・展示を通して歴史と発展の過程を学びました。

研修を通して異なる文化や制度に触れ、視野が大きく広がり、将来の学びや職業観にも影響を与える貴重な経験となりました。



国を超えた 共通点に 気づく



東京理学療法学科3年 染野 美優

研修では、都市計画を学ぶギャラリーや、発達支援教育、知的障がい者支援などの各施設を訪問しました。さらに、急性期から回復期までを担う総合病院や地域医療施設を見学し、対象者に合わせたリハビリの取り組みや、多職種が密に連携する姿を間近に知ることができました。

どの現場でも、患者さんに必要な支援をチームで追求する姿勢が共通しており、国は違っても医療において大切にすべき本質は同じだと実感しました。

今回の経験を糧に、多職種連携を意識しながら、一人ひとりの生活背景に寄り添った支援ができる理学療法士を目指したいと思います。

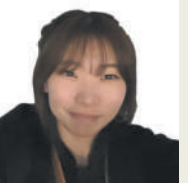


シンガポール工科大学(Singapore Institute of Technology:SIT)は、2009年に設立された国立大学で、産業界と密接に連携した実践的教育を特色としています。工学、ヘルスケア、食品、化学など幅広い分野を有し、シンガポールにおける理学療法士・作業療法士養成の中核を担っています。また、海外大学との共同学位プログラムを展開し、国際的な教育環境のもとで高度な専門教育を受ける機会が提供されています。



英会話を楽しめるように

作業療法学科1年 浅沼 音由



SITでは広いキャンパスと実践的な設備を見学し、学生が積極的に議論する学習環境に刺激を受けました。現地学生とは英語で多く会話し、最初は不安でしたが翻訳に頼らず気持ちが伝わった瞬間がうれしく、文化交流や観光を通して仲を深めました。

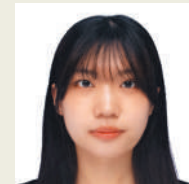
病院見学では、自然に囲まれた環境や、患者さんに社会参加の機会をつくる仕組みなど、日本とは異なる医療の在り方を学びました。

研修を通した最も大きな変化は、英語を話すことへの抵抗がなくなり、自分から会話を楽しめるようになったことです。大きな成長だと思います。1年生で不安もありましたが、先輩方と出かけたり、SITの学生と連絡先を交換して交流できたことは良い思い出となり、挑戦してよかったと感じています。



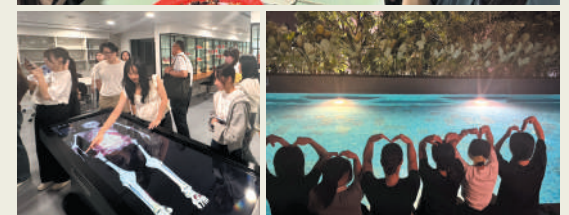
学びも生活も充実

東京理学療法学科3年 馬場 玲奈



SITでは学生同士で問診、疾患の予測、理論づけ、治療方針の説明を行うなど、実践的な症例検討を通して学びました。施設見学では多様な患者に合わせた多言語対応の環境づくりが勉強になりました。

SITの学生とは出発前から交流し、シンガポールでもホーカーでおすすめ料理を食べたり、プリクラやかき氷を楽しんだりしました。ドリアン味のかき氷が一番好きという言葉には驚きました。週末はユニバーサル・スタジオ・シンガポールやリュージュ、マラーイオンを巡り、最後の夜にプールで水をかけ合ったことも思い出です。学びと観光のどちらも充実した研修になりました。



Program スケジュール(例)

SITを訪問し、講義および複数の病院・医療福祉施設の見学を通して、シンガポールのリハビリテーションの現状を学ぶプログラムです。SIT学生との合同演習や文化交流も行い、国際的な視野を広げます。

DAY1 東京→シンガポール

DAY2 オリエンテーション／SIT紹介／
キャンパスツアー／学生交流

DAY3 SIT学生との観光交流

DAY4 フリー行動

DAY5 講義(日常生活動作)／
社会・文化施設見学(シティ・ギャラリー、国立博物館)

DAY6 演習／講義(運動器理学療法)／
特別支援教育・支援現場の見学

DAY7 医療・福祉施設見学

DAY8 病院・地域医療見学／修了証授与

DAY9 シンガポール→東京





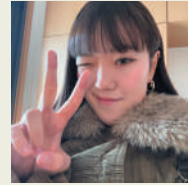
イーディス・コワン大学 (ECU)

11日間(3月中旬)約40万円

理学療法学科／作業療法学科／柔道整復学科／東京理学療法学科／東京柔道整復学科／看護学科／医療福祉学科／こども学科／幼児保育学科／学校教育学科 1～3年生



授業も 交流も含む 幅広い学び



こども学科幼稚園教諭・保育士コース3年 星谷 彩夏

オーストラリアの小学校には教科書がなく、先生のカリキュラムに沿って進みます。物語について考える授業では、「読み・読解・語彙・倫理」を一つの授業で同時に教えている点が日本と大きく異なり、驚きました。子どもの集中力を保つ声かけや取り組みも勉強になりました。また、ロットネスト島で「世界一幸せな生き物」と言われるクオッカの写真を撮影したことや、スカボロービーチのイベントで音楽に合わせて踊った時間も印象に残っています。ECUの学生が案内してくれたパース駅近くのレストランでは、映画のような雰囲気の中で食事を楽しめました。皆が会話を弾ませており、とても心地よい時間でした。



初海外 & 人見知りでも 勇気を出して



東京理学療法学科2年 市村 脩翔

海外の医療制度への興味と、「人生で一度は海外へ」という思いから研修に参加しました。到着直後から英語でのコミュニケーションが始まりましたが、事前研修で学んだ英語やジェスチャーを駆使し、現地の皆に丁寧に接してもらいながら交流することができました。ECUではキャンパスツアーやオープンデーに参加し、広大な環境や、学生のメンタルケアを担う「ウェルネス・ドッグ (Wellness Dog)」の存在が強く印象に残りました。初めての海外で人見知りなこともあり不安はありましたが、勇気を出して参加したことで新しい仲間と出会い、有意義な10日間を過ごせました。迷っている方がいたら、ぜひ一歩踏み出してみたいです！



イーディス・コワン大学 (Edith Cowan University: ECU) は、1991年に創立されたオーストラリアの公立大学です。約30,000人の学生が学び、フィールドワークや実習など実践的な学修機会が豊富に用意されています。幅広い分野で産学連携を展開し、理論と実践を結びつけた教育を特色としています。また、教育・看護・スポーツ医科学分野を中心に、世界大学ランキングにおいても高い評価を受けています。



発見の連続のオーストラリア

看護学科3年 松本 愛梨



ECUでは自然豊かで開放的な環境で学び、オーストラリアでは医師と理学療法士が対等な立場で患者のリハビリ計画を作成できることや、「運動は薬である」という考え方が浸透していることを知りました。小児病院の見学では、おもちゃ売り場や宇宙船のような受付があり、明るい雰囲気にも驚きました。科学的根拠に基づき、遊びながら身体機能を学べる施設も非常に印象的でした。ECUの先生や学生との交流では、最初は緊張したものの、一度話し始めると楽しく、研修は大きな学びと発見の連続となりました。



ことばと分野を超えて学ぶ研修

こども学科小学校・幼稚園教諭コース2年 本山 ひなた



ECUでは「エキセントリック運動」の講義や広大なキャンパスの見学を通して、専門以外の分野にも触れる多角的な学びができました。現地学生とはバーベキューやパース市内の案内、食事を通して交流。また、オーストラリア伝統のローンボウリングでは、回数を重ねるごとに盛り上がり、もっと続けたいと思うほど楽しかったです。ロットネスト島でのサイクリングやビーチでの時間も、最高の思い出になりました。研修を通して英語を積極的に話す力がつき、他学科の知識や海外ならではの交流も経験でき、とても実りある10日間になりました。



Program

スケジュール(例)

各学科に関連する多彩な内容が組み込まれ、講義、施設・病院訪問、高齢者との交流、学校訪問やECU学生との演習を通じてオーストラリアの教育・医療・福祉の実態を体験的に学びます。



DAY1 東京→パース

DAY2 フリー行動

DAY3 オリエンテーション／ECU紹介／キャンパスツアー

DAY4 講義(オーストラリア看護)／看護研修施設・病院見学／動物園(コアラ・カンガルー)

DAY5 講義(スポーツ医科学)／高齢者ワークショップ／ローンボウリング体験



DAY6 現地学生との社会科見学(博物館・議事堂・キングスパーク)／スカボロービーチ

DAY7 講義(教育学)／現地学校見学／プレゼンテーション準備

DAY8 フリーマントル歴史地区・マーケット散策／ロットネスト島

DAY9 ECUオープンデー参加

DAY10 振り返り／プレゼンテーション／修了証授与

DAY11 パース→東京



理学療法学科／作業療法学科／柔道整復学科／東京理学療法学科／東京柔道整復学科／看護学科／医療福祉学科 1～3年生

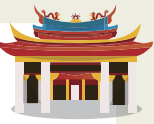
ソウル大学附属分府(ブンダン)病院(SNUBH)は、韓国を代表する国立大学であるソウル大学が運営する附属病院の一つです。2003年に開院して以来、高度先進医療・臨床研究・医療人材育成を三本柱として発展を続けています。韓国国内のみならず国際的にも評価の高い医療機関であり、先進的な医療技術と効率的な病院運営を両立したモデル病院として注目されています。



分府ホスピタルは、韓国を代表する大学附属病院として、医療ITを活用した先進的な診療体制を構築してきました。早期から電子カルテを全面導入し、診療情報の一元管理による患者中心の医療と、医療の質・安全性の向上を実現しています。病床数：約1,300～1,424床、内科・外科をはじめとする幅広い診療科を有する総合病院として、急性期から回復期、リハビリテーションまで一貫した医療を提供しており、地域医療機関との連携による包括的な医療体制も整えています。臨床研究と実践的医療が密接に結びついた医療現場は、医療人材育成の場としても高く評価されており、国際的にも先進的な医療拠点として注目されています。

全学部・全学科 4年生／日常会話レベル(英検2級・TOEIC450点程度)

弘光科技大学(Hungkuang University)は、1967年に創立された台湾・台中市に位置する私立総合大学です。保健医療、福祉、観光、デザインなど多様な学科を擁し、看護やホスピタリティ分野を中心とした実践的教育を展開しています。約1万人の学生が在籍し、産学連携による職業教育と国際交流を通じてグローバル人材の育成を目指しています。



写真出典：弘光科技大学 公式サイト



本研修は、台湾・台中にある弘光科技大学が主催する、約2週間のサマープログラムです。世界50か国以上から学生が参加し、英語で開講される科目を中心に専門分野の授業を履修しながら、多国籍の学生とともに学ぶ環境で理解を深めます。また、学内での交流活動や日常の学生生活を通じて、異文化理解およびコミュニケーション能力の向上を図ります。台湾の学生や各国の仲間とチームで課題や発表に取り組む機会もあり、「伝える力」「協働する力」を実践的に養うことができます。台中は活気ある都市でありながら治安も良く、初めての海外でも安心して挑戦できる環境です。英語での授業や交流を通じて、実践的なコミュニケーション力を磨くことができます。



こども学科／幼児保育学科／学校教育学科 1～3年生

LCIバンクーバー校(LCI Vancouver)は、少人数制クラスと多国籍な学習環境を特色とする語学学校です。クリエイティブ分野の高等教育機関であるラ・サール・カレッジ・バンクーバーと同じ最新キャンパス内にあり、図書館やカフェテリアなどの施設を利用できます。多国籍の学生との授業やアクティビティを通じて、実践的な英語運用力と国際感覚を養うことができます。



多国籍・少人数クラスのため授業中の発言機会が多く、短期間で実践的な英語運用力を集中的に伸ばすことができます。フレンドリーな雰囲気でも初めての海外研修でも安心して参加できます。また、現地の中学・高校を訪問し授業の様子を見学します。生徒一人ひとりの個性を尊重するカナダの教育現場に触れることで、日本との違いを比較・考察します。



Program

スケジュール(例)

ソウル大学附属病院および関連する社会福祉・リハビリテーション施設を訪問し、医療現場を多角的に学びます。先進的な医療システムや病院運営、国際的な医療の動向を理解するとともに、看護・リハビリテーション・医療福祉分野の実践的知識を深め、今後の医療と国際連携について考察します。



DAY1 東京→韓国

DAY2 講義(韓国の医療制度)／病院見学(看護領域、リハビリテーション領域)

DAY3 社会福祉施設見学／附属病院関連施設見学

DAY4 企業・先端施設見学

DAY5 フリー行動

DAY6 韓国→東京



ハワイ・パシフィック大学(Hawaii Pacific University:HPU)は、1965年に設立されたハワイ最大規模の私立大学です。ホノルル市内のダウンタウンを中心に複数のキャンパスを有し、約100か国から集まる多様な学生が学ぶ国際色豊かな環境を特色としています。ビジネス、看護、海洋科学、心理学など幅広い分野の教育を展開し、実務に直結した学びと国際交流の機会が充実しています。



教育交流

研修オリエンテーションや、本学学生による英語でのプレゼンテーションおよびポスター発表、HPUの学生との意見交換や交流会などを行いました。



ソーシャルワーク学習

HPUの教員による講義やワークショップに参加。リフレクションワークやレポート作成なども行いました。



文化学習

タロイモについての体験学習を行い、ソーシャルワークとの関連について学びました。



施設見学

Mental Health Department や Community Health Center を見学しました。



その他

ツアーに参加したり、研修合間のひとりでワイキキ・ビーチも訪れました。

Program

スケジュール(例)

ハワイのソーシャルワーク教育(講義/見学等)を通し、ソーシャルワークを体験的に理解するとともに、日本の福祉とハワイの福祉の理解を通し、多文化の理解を深めます。



- ☐ **Pacific Disability Center 訪問**
*障がいを持つ個人に対するリハビリおよび職業訓練リソースセンター訪問
- ☐ **ハワイ・パシフィック大学の授業訪問**
*HPUの学生との学術交流/ポスタープレゼンテーション及び交流
- ☐ **KŌKUA KALIHI VALLEY (LCSW講義)**
*日本人で現地でソーシャルワーカーとして活動している方の講義
- ☐ **Japanese Community Support Center of Hawaii (交流会)**
*現地に在住の日本人コミュニティ交流会へ参加
- ☐ **Ka Papa Lo'i o Kānewai**
*タロイモ畑ツアー/ハワイ文化とソーシャルワークの関係を学ぶ



カセサート大学(Kasetsart University:KU)は、1943年に設立されたタイ初の農業系大学を母体とする国立総合大学です。農学・獣医学分野を基盤として発展し、現在は科学、工学、社会科学、人文学など幅広い分野を擁しています。バンコクのバーンケンキャンパスを中心に複数のキャンパスを展開し、約58,000人の学生が学んでいます。近年は英語による教育プログラムや国際交流にも力を入れています。

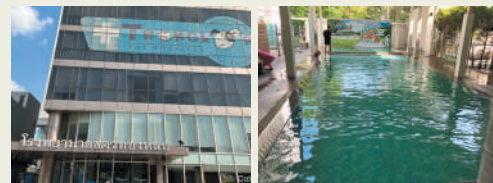


獣医技術学部での実習

カセサート大学獣医技術学部では、2日間で8セッションの実習を実施しました。中大型犬での保定・身体検査、各種検査、血液塗抹の練習などを体験し、日本では稀な寄生虫の観察もできました。麻酔下での歯科処置見学や犬用おやつ作りも行い、学びと体験が充実した研修となりました。

獣医学部・附属動物病院

獣医学部では、国内最大規模の附属動物病院を見学しました。1日300～500頭が来院する大規模病院は専門科や研究施設が整い、最新設備の充実ぶりには圧倒されます。動物のリハビリ実習では器具を用いた訓練や水中トレッドミルを体験し、難しさや工夫の重要性を学びました。最後に修了証も授与されました。



トンロー動物病院

タイで20以上の分院と300名超の獣医師を擁するトンロー動物病院も訪問し、専門科や猫専用フロア、エキゾチック診療、CT・MRIを備えた大規模な施設を見学しました。宿泊設備やリハビリプール、送迎サービスなど、動物と飼い主に寄り添う充実した環境に強い印象を受けました。

カオキアオ動物園

カオキアオ動物園では、自然に近い展示環境で多様な動物を観察し、象の水中遊泳など日本では見られない光景を体験しました。園内の動物病院では、大型動物用麻酔銃や挿管チューブを見学し、野生動物医療を学びました。自由時間にはトラムで園内を巡り、動物とのふれあいも楽しみました。



タイ文化体験

三大寺院を巡る文化体験を通じ、タイの歴史や仏教文化への理解を深めました。

Program

スケジュール(例)

「高度な専門知識」を養い、国際感覚を身につけた人材の育成を目的とした研修です。カセサート大学において、動物臨床検査や動物看護師の育成を行う学部での技術研修を中心に、大学附属病院や大手動物病院グループ、国立動物園などの見学も含まれます。

DAY1 東京→バンコク

DAY2 カセサート大学獣医技術学部(1日目)

DAY3 カセサート大学獣医技術学部(2日目)

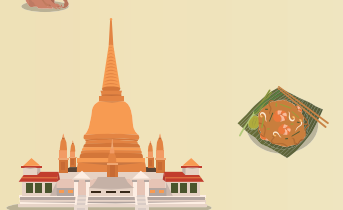
DAY4 カセサート大学獣医学部・附属動物病院

DAY5 トンロー動物病院

DAY6 カオキアオ動物園

DAY7 タイ文化の体験

DAY8 バンコク→東京



研修生受け入れ



ナンヤン理工学院 2025年3月3日(月)～3月7日(金)



シンガポール・ナンヤン理工学院とは、2023年8月に学術交流協定を締結し、2024年以降、毎年、看護学科および社会福祉学科の学生約20名を受け入れています。研修では、学内施設見学や日本の医療制度に関する講義に加え、病院、リハビリテーション病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどを視察し、地域包括ケア制度と地域・在宅ケアの実践について理解を深めました。



シンガポール工科大学 2025年8月18日(月)～8月22日(金)

シンガポール工科大学とは、2025年8月に連携し、理学療法学科および作業療法学科の学生約20名を受け入れ、日本における医療・リハビリテーション分野の研修を実施しました。研修では、国立のリハビリテーション専門機関や総合病院、スポーツ医科学関連施設、大学附属施設を訪問し、日本の医療制度やリハビリテーションの実践について理解を深めました。さらに、富士山麓での乗馬療法体験を通じて、自然や動物を活用した日本独自のリハビリテーションを学ぶ機会となりました。



カセサート大学 2025年8月17日(日)～8月26日(火)



タイ・カセサート大学とは、2024年8月締結の学術交流協定に基づき、教育・研究交流の推進を目的として、獣医技術学部4年生5名を受け入れました。期間は2025年8月17日～26日で、アニマルサイエンス学科が担当し、本学および外部の動物病院・水族館での実習、学内交流、日本文化体験を実施しました。



スラナリー工科大学 2026年2月～3月

タイ・スラナリー工科大学とは、2024年12月に学術交流協定を締結し、学術交流および人材育成協力の一環として研修生の受け入れを進めています。タイでは高齢化に伴う介護人材不足が深刻化しており、政府主導の育成プロジェクトが推進されています。本研修は、タイにおける基礎理論・実習420時間に続き、日本では本学を通じて160時間の実習を実施するものです。2025年度は視察団を受け入れてパイロット実施を行い、2026年度以降は40名の研修生受け入れを予定しています。



写真出典：スラナリー工科大学 公式サイト

国際交流ラウンジ



国際交流ラウンジは、留学生と日本人学生が自由に交流し、互いに学び合える開かれたスペースです。言語や文化の違いを超えて、日常の会話から深い異文化理解まで、多様な出会いを楽しみましょう。学生の皆さんの多様なチャレンジを全力で応援します。

利用対象

- ・日本語を学びたい留学生
- ・外国語を話してみたい日本人学生
- ・異文化交流や国際協力に関心がある方
- ・新しいつながりを求めている方

言語交換・会話カフェ

英語・日本語・中国語などを用いて、誰もが気軽に参加できる多文化交流の場です。言葉はコミュニケーションのためのツールであり、理解は人と人をつなぐ架け橋です。ぜひ、国際交流ラウンジでの対話を通して、新しい発見や学びを深め、世界をより身近に感じるきっかけにしてください。



文化イベント

料理教室、季節の行事、国際フェスティバルなど多彩なプログラムを展開しています。



令和7年度

- 1月～3月 日本語プログラム教室
- 5月 留学生新入生歓迎会
- 6月 留学生就職支援説明会
- 7月 禅茶会
- 12月 クリスマス特別イベント(ビーズ制作)

令和8年度

- 1月 足立区生涯学習支援センター異文化体験
- 3月 日本語プログラム教室

お待ちしております！

場 所：千住キャンパス8号館1階
開館時間：8:30～17:00
連絡先：03-6910-3729 直通(1694)
担当者：陳(月～金)・梶谷(月・水)

ブログでも
情報発信中！

